

国指定 糸魚川・能生の舞楽

はくさんじんじや <白山神社の舞楽>

白山神社

舞楽が奉納される白山神社は、奴奈川姫命、伊佐奈岐命、大己貴命の三柱を祭神とし、白山信仰を広めた泰澄大師によって、社号を白山権現と改めたと伝えられています。

神社には神仏習合の名残を示す聖観音立像(重要文化財)をはじめとした、多くの仏像も残されています。

毎年4月24日の春季大祭に、池の上に設営された舞台で奉納されます。この舞楽の歴史は古く、長亨2年(1488)に京都相国寺の僧万里集九が能生に滞在した際の日記『梅花無尽蔵』に、「来歳三月念二三之両朝、有祭祀之舞童」と記載していることから500年以上は遡ります。大阪四天王寺の舞楽の流れを受け継ぎながらも、地域的な要素も多く含まれ、新しい独自の舞楽として完成されています。

昭和55年1月28日に、糸魚川の天津神社の舞楽とともに、重要無形民俗文化財に指定されています。

白山神社の舞楽

(昭和55年1月28日指定)



1. 獅子舞 大人二人

二人立ちで、御輿の巡行の道を浄めるため、行列に先立って舞われます。能生・小泊両地区の若衆が一年交代で舞います。



2. 振舞 稚児二人

舞台祓いの意味で舞楽の最初に舞われます。圧勝の舞で、悪魔調伏の祈りをあらわす舞です。



3. 候礼 稚児四人

白いちりめんの装束に花の天冠をかぶり、四人の稚児が舞台上で舞う姿は、とても静かで優雅です。



4. 童羅利 稚児一人

五分程度の短い舞で、稚児舞の中で唯一面をかぶって舞います。舞は単純で軽快、ひょうきんな動作のくりかえしで、帰りの橋掛かりでころんだ身振りで「あかんべえ」をすることがあります。



5. 地久 稚児四人

奈良時代までに中国から伝来した渤海楽の舞のひとつであろうといわれていますが、その起源や伝来は不明です。頭に花天冠をかぶった四人の稚児が、前半は比較的ゆっくり、後半は軽快な調子で舞います。



6. 能抜頭 大人一人

奈良時代までに南方から伝わったとされる林邑楽の舞のひとつとされ、父の仇の猛獣をさがし求め、格闘の末討ち取り、喜びいさんで山をくだる様子を表現しているとされています。手に持っているばちは、武器をあらわします。



7. 泰平楽 稚児四人

昔の武人が戦場に出るときの装束を模した、赤地に金欄の装束に鉾と太刀を一つずつ持って舞います。世の中の乱れを治め、正しい道に戻すというたいへんめでたい舞です。



8. 納曾利 大人二人

双竜舞ともいわれます。牙のあるどんぐり目の恐ろしい鬼の面にばちを持って舞い、二つの竜が楽しげに遊び合う様子を表しています。



9. 弓法楽 稚児四人

頭に巻髪冠をかぶり、肩に弓をかついで舞います。舞台上でそれぞれ矢を一本放ち、帰りの橋掛かりでもう一本を放ちます。



10. 児抜頭 稚児一人

花天冠をかぶり、紫色の装束を着て、手には中啓とよばれる扇を持って静かに、優雅に舞います。



11. 輪歌 稚児四人

紫色のちりめんの装束を着て、手には花束を持って舞います。静かで優雅な舞が陵王の登場をより一層荘厳にします。



12. 陵王 大人一人

「既に死亡した中国のある王が、わが子のために陵(=墓)から出現して戦地に向かったが、日が暮れ、敗色が濃くなったため、日を招き返してついに敵を滅ぼした」という伝説に由来する舞です。太陽が日本海に沈む頃にこの舞は舞われ、舞台の中央で「日を招く」所作があります。

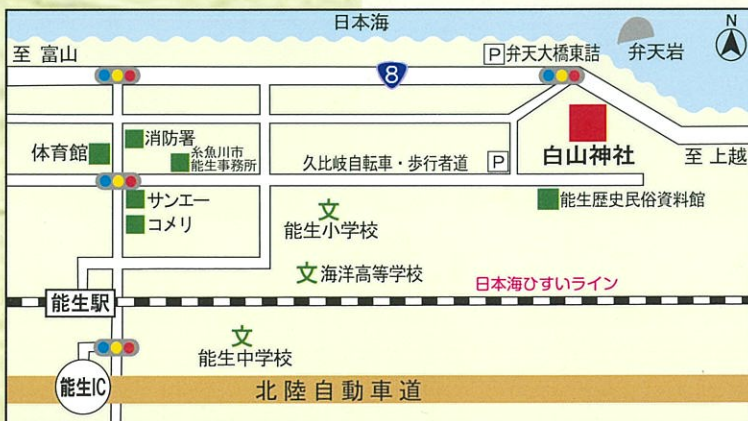
白山神社春季大祭日程

*時間は天候等によって前後します。

4月24日	9時～	獅子舞	行列に先立ち獅子舞が舞われます。
	12時～	神輿のお走り 大祭	3基の神輿が境内を勢いよく走ります。 お走りの興奮冷めやらぬうち、大祭式典が行われます。
	13時～	舞楽奉納	式典が終わり、清浄な雰囲気の中舞楽の奉納が始まります。

交通のご案内

【電車】 JR「能生駅」より徒歩15分
【自動車】 北陸自動車道
「能生IC」より10分



白山神社の文化財

国指定

- ・白山神社本殿(昭和33年5月14日指定 1棟付棟札4枚 建造物)
- ・木造聖観音立像(明治39年4月14日指定 1軀 彫刻)
- ・能生白山神社の海上信仰資料(昭和62年3月3日指定 97点 有形民俗)
- ・能生白山神社社叢(昭和12年12月21日指定 天然記念物)
- ・能生ヒメハルゼミ発生地(昭和17年10月14日指定 天然記念物)

県指定

- ・舞楽面(昭和56年3月27日指定 4面付1面 彫刻)
- ・銅造十一面観音立像(昭和56年3月27日指定 1軀 彫刻)
- ・木造泰澄大師坐像(昭和56年3月27日指定 1軀 彫刻)
- ・梵鐘(昭和51年3月31日指定 1口 工芸品)

市指定

- ・白山神社拜殿(平成6年7月22日指定 1棟 建造物)
- ・白山神社神仏像群(昭和47年5月12日指定 43軀 彫刻)
- ・白山神社古鏡(昭和47年5月12日指定 2面 工芸品)
- ・紺紙金字一切経(昭和47年5月12日指定 1巻 書跡)
- ・朱印状三代将軍徳川家光(昭和59年5月29日指定 11点 書跡)
- ・棟札(昭和59年5月29日指定 1枚 歴史資料)